

【GIGA×指導の工夫・改善】子供の学習状況を見取り、次時の指導に活かす学習指導の工夫

<考察>

学習の冒頭に、表計算ソフトで前時の振り返りを学級で行った。表計算ソフトは、児童間でも閲覧可能となっている。そのため、友達の振り返りや友達がもらった教師のコメントを参考にすることができる。教師は、児童のノート等だけでなく、自己評価を見取ることによって、児童の認識と実際の理解度が異なっていることを把握しやすく、適切な指導・助言をすることができた。

【実践例】4年 国語科「友情のかべ新聞」

「友情のかべ新聞」 名探偵になってひみつを解き明かそう！！							
	計画	振り返り	自己評価 (A・B・C)				先生より
			伝える	聞く	推理	言葉	
1	学習計画とルーブリックを作ろう。	学習計画をたてたんだ	・	・	A	A	次もがんばろう
2	登場人物の性格を確かめよう。	せいかくを確かめられたさいごに配られたプリントで仲良くなったは密がわかった気がする	A	A		A	
3	二人が仲良くなったのかひみつを探ろう。	ふたりがなかよくなったひみつをときあかせた	A	A	A		その調子で、もう一つのひみつも解き明かしてみよう！
4	二人の気になる行動をまとめよう。	こうどうをまとめられた 次はすいりですいりは得意だから楽しみ			B		どんな推理になるかな！？ぜひおもしろい推理をしてみよう！
5	二人が起こした出来事のひみつを探ろう。(個人で)	推理がむずかしかったけどできた気がする	・	・	A	・	できたんだね。次のどんな推理が聞けるか楽しみです
6	二人が起こした出来事のひみつを探ろう。(グループで)	伝え合いがいつもよりできた聞くこともいつもよりできた	A	A	A	・	
7	ばくの推理と比較しよう。	欠席	・	・	・	・	

【表計算ソフトを活用した振り返りシート】

